

2023年3月22日

## ランクセス、2022年度通期の業績を発表 売上高と利益が顕著に増加

ランクセス株式会社

- 連結売上高は前年比32.6%増の80億8,800万ユーロ
- 特別項目を除いたEBITDAは、前年比14.1%増の9億3,000万ユーロ
- 買収したコンシューマープロテクション部門の複数の事業がプラスに貢献
- 2022年度の配当提案: 1株あたり1.05ユーロ
- 2023年度通期の見通し: 2022年度と同水準の利益を見込む
- 2023年度第1四半期の見通し: 特別項目を除いたEBITDAは、1億8,000万ユーロから2億2,000万ユーロの間を見込む
- CEO のマティアス・ツァハトは「ランクセスの戦略は試練に耐えてきました。多くの逆境を克服して1年をうまく乗り切りました」と述べる

ドイツの特殊化学品メーカー、ランクセス(LANXESS)は、2022年度通期の業績を発表しました。激変する環境の下、売上高と利益を顕著に増加させることができました。

2022年度の連結売上高は、前年比32.6%増の80億8,800万ユーロ(前年:61億100万ユーロ)となりました。特別項目を除くEBITDAは、前年比14.1%増の9億3,000万ユーロ(前年:8億1,500万ユーロ)で、通期の業績予測値(9億ユーロから9億5,000万ユーロ)の範囲内に着地しました。

原材料やエネルギーの大幅なコスト増には、市場での販売価格の引き上げにより成功裏に対応することができました。特に成長を牽引したのはスペシャリティアダティブ部門とコンシューマープロテクション部門です。コンシューマープロテクション部門では、2022年7月に買収したIFF社のマイクロビアルコントロール(微生物制御)事業と、2021年8月に買収した米国のエメラルド・カラマ・ケミカル社の事業が利益の増加に貢献しました。一方で、2022年第4四半期の販売量の減少は収益にマイナスの影響を及ぼしました。

「2022年、ランクセスは逆境を克服し収益を拡大しました。私たちの戦略は試練に耐えてきました。ランクセスの製品は市場で優位性のあるポジションを維持し、極端なコスト増にもうまく対応することができました。また、特殊化学品にさらに注力し、北米におけるプレゼンスを強化しました。このことにより、さらなる安定性と成長がもたらされます」とランクセス CEO であるマティアス・ツァハトは述べています。「しかし、2023年は容易にはいかないでしょう。2022年最終四半期にすでにその感触があった需要の減少は、新しい年を迎えた現在も続いています。しかし、ランクセスの安定

した市場ポジションのおかげで、私はこの経済の低迷を乗り切ることができると確信しています」とツアハトは続けています。

特別項目を除く EBITDA マージンは 11.5% (前年: 13.4%) となりました。この減少は、大幅なコスト増と販売量の減少が影響したことによるものです。

継続事業の純利益は前年の 1 億 1,500 万ユーロから 60.0% 増の 1 億 8,400 万ユーロとなり、大幅に増加しました。ハイパフォーマンスマテリアルズ (HPM) ビジネスユニットは分社化したことで非継続事業として報告しており、この結果には含まれていません。

2023 年についてランクセスは、特別項目を除く EBITDA は前年と同水準になると見込んでいます。同時に、ランクセスグループでは、今年度上期のビジネス環境は景気後退の局面を迎えると予想しています。前年度第 4 四半期から続くエネルギー価格の高止まりは、2023 年初頭にも影響を与えるでしょう。ウクライナ戦争の余波や原材料・エネルギーコストの変動は、依然として不確実性の要因となっています。2023 年第 1 四半期は、特別項目を除く EBITDA は 1 億 8,000 万ユーロから 2 億 2,000 万ユーロの間になると見込んでいます。

### ポートフォリオをさらに最適化

2022 年の一年間、ランクセスは特殊化学品に継続的に注力したことで、安定性が高まり、景気変動に左右されにくいポートフォリオを構築することができました。ランクセスグループは 2022 年 7 月、米国 IFF 社のマイクロビアルコントロール (微生物制御) 事業の買収を完了しました。また、昨年 5 月には、ハイパフォーマンスマテリアルズ (HPM) ビジネスユニットの分社化も発表し、今後は高性能エンジニアリングポリマーの合弁会社に移管される予定です。また、プライベートエクイティ投資会社のアドベント・インターナショナル社との合弁会社設立を計画しています。現在、すべての独占禁止法関連の承認を得られており、合弁会社の設立は 4 月初めに完了する見込みです。ランクセスは、この手続きで約 11 億ユーロの支払いを受けますが、この資金により主に負債を削減し、財務基盤を強化する予定です。

### 配当は安定した水準を維持

2022 年の配当は、安定的に推移する見込みです。取締役会と監査役会は、2023 年 5 月 24 日開催予定のバーチャル年次株主総会において、1 株当たり 1.05 ユーロの配当を提案する予定です。厳しい事業環境にもかかわらず、前年比横ばいとなっており、ランクセスグループは引き続き、安定配当を維持する方針です。配当総額約 9,070 万ユーロとなります。

### 部門別業績: 全部門で成長拡大

コンシューマープロテクション部門は年間を通して非常に好調でした。2021 年のエメラルド・カラマ・ケミカル社の買収、および、2022 年 7 月の IFF 社のマイクロビアルコントロール (微生物制御) 事業を買収したことにより、この部門は高い利益を得ました。2022 年度の売上高は前年比

49.8%増の23億6,600万ユーロ(前年:15億7,900万ユーロ)となりました。特別項目を除いたEBITDAは、前年の2億7,900万ユーロから30.1%増の3億6,300万ユーロとなりました。この部門のすべてのビジネスユニットで販売価格の引き上げを実現しました。一方で、輸送コストの大幅な上昇が収益にマイナスの影響を及ぼしました。特別項目を除くEBITDA マージンは、前年度を下回る15.3%(前年:17.7%)でした。

スペシャリティアダティブ部門においても、販売価格の引き上げにより、エネルギー・原材料価格の大幅な上昇に対応することができました。また、回復傾向にある航空業界の恩恵も受けています。売上高は前年比29.4%増の29億7,000万ユーロ(前年:22億9,500万ユーロ)となりました。特別項目を除いたEBITDAは、前年比48.3%増の4億7,900万ユーロ(前年:3億2,300万ユーロ)でした。特別項目を除くEBITDA マージンは、前年度を上回る16.1%(前年:14.1%)でした。

アドバンス中間体部門においても同様に、エネルギー・原材料価格の上昇に成功裏に対応することができました。しかしながら、需要の低迷とそれに伴う売上高の減少が収益の減少につながりました。売上高は前年比23.8%増の24億1,300万ユーロ(前年:19億4,900万ユーロ)となりました。特別項目を除いたEBITDAは2億9,100万ユーロと、前年の3億3,300万ユーロから12.6%減少しました。特別項目を除くEBITDA マージンは、前年度を下回る12.1%(前年:17.1%)でした。

#### 2022 年度通期 主要データ(単位:100 万ユーロ)

	2021 年度 第 4 四半期	2022 年度 第 4 四半期	変動率 (%)	2021 年度	2022 年度	変動率 (%)
売上高	1,679	1,973	17.5	6,101	8,088	32.6
特別項目を除いた EBITDA	172	175	1.7	815	930	14.1
特別項目を除いた EBITDA マージン	10.2%	8.9%		13.4%	11.5%	
純利益	29	-21	<-100	267	250	-6.4
継続事業	-8	-14	-75.0	115	184	60.0
非継続事業	37	-7	<-100	152	66	-56.6
一株あたりの配当/配当 提案(単位:ユーロ)				1.05	1.05	0.0
純金融負債*				2,245	3,814	69.9
従業員数**				12,951	13,126	1.4

\*預貯金と短期性有価証券を除いたもの

\*\*各年度の12月31日時点で継続事業に従事している社員数

これは、ドイツ・ケルンで3月15日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

この原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://press.lanxess.com/>

## ランクセスについて

ランクセスは、世界 33 カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2021 年の総売上は 61 億ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 13,200 人です。主な事業は、中間体、添加剤、コンシューマープロテクション製品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスは、持続可能性に優れた企業を選定する「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス」のワールド・インデックス (DJSI World)、ヨーロッパ・インデックス (DJSI Europe) および「FTSE4Good」の構成銘柄です。ランクセスについての詳細は同社 URL にてご確認下さい。

[www.lanxess.co.jp](http://www.lanxess.co.jp)

## 本件に関するお問い合わせ先:

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ

TEL : 03-5293-8006 FAX : 03-5219-9773

[lanxess.japan@lanxess.com](mailto:lanxess.japan@lanxess.com)

## 免責について (Forward-Looking Statements)

本プレスリリースには、ランクセスの予測、見解、期待、そして第三者からの引用を含む、予測・予定事項の記述がございます。様々な既知あるいは予測不能なリスク、不確定要素、またその他の要因により、実際に発生する結果、財務状態、発展及び業績が、本資料に記載の予測・予定事項と大幅に異なる可能性があります。本資料に示される将来予測に関する意見の正確性や進捗が実際に起こりえるかどうかに関しても責任を負うものではありません。ここに示されたいかなる情報、予測、推定、目標、意見に関して、明示的あるいは黙示的な表明や保証を行うものではありません。そのため、これらの記述につきまして、本資料の記載事項に全面的に依存されることは控えて頂きますようお願いいたします。本資料に示されたいかなる脱漏、誤った記述に関しても責任を負いかねます。また、この資料を使用することによる直接的あるいは間接的に生じる事項に関して、ランクセスとその関連会社、役員、責任者、従業員は一切の責任を負いかねますので、併せてご了承いただきますようお願い申し上げます。

## その他の情報

ランクセスのニュースリリースは [www.lanxess.co.jp](http://www.lanxess.co.jp) の「プレスリリース」項目よりご覧ください。また、役員およびその他の写真は <http://photos.lanxess.com> (英語) より入手いただけます。ランクセスの動画および音声、ポッドキャストについては下記をご覧ください。 <http://globe360.net/broadcast.lanxess/> (英語)

ランクセスのウェブマガジンは下記でご覧いただけます。

<https://webmagazine.lanxess.com/ja/> (日本語)

ランクセスの Twitter、Facebook、LinkedIn、YouTube の公式ページは下記サイトをご覧ください。

[http://www.twitter.com/LANXESS\\_JP](http://www.twitter.com/LANXESS_JP) (日本語)

<http://www.facebook.com/LANXESS> (英語)

<http://www.linkedin.com/company/lanxess> (英語)

<http://www.youtube.com/lanxess> (英語)

(2023-0315J)